

「広岡浅子が生きた時代」

平成 27 年 (2015) 11 月 13 日発行

激動の時代を生きた女実業家
連続テレビ小説「あさが来た」
の原案である古川智映子の小説
「土佐堀川」。

その物語の中に描かれているの
は、実在した明治の女実業家・
広岡浅子の一代記である(1849
～1919)。大阪の両替商へ嫁ぎ、
炭鉱業、保険業、女子大学創立
と様々な貢献を果たした。彼女
を支え、慕った人々、あるいは
時代の寵児たちとの様々なドラ
マが残る。

この本では、多数の方々を紹介
しているが、今昔写真を提供し
た土倉庄三郎の項をあげた。

土倉庄三郎(1840～1917)
吉野林業の中興の祖
浅子とともに女子大学設立に尽力

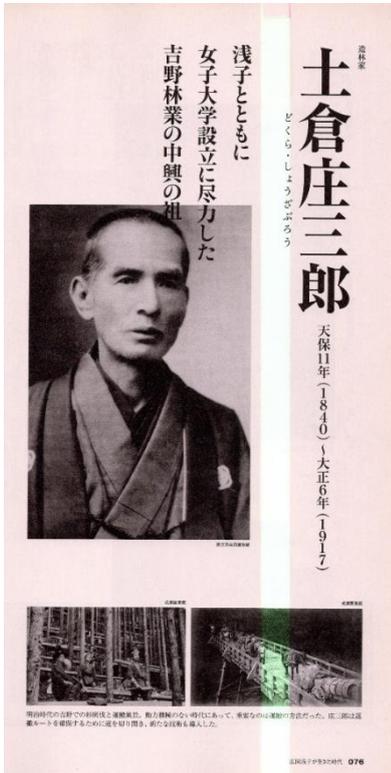
連続テレビ小説「あさが来た」主人公モデルの女実業家

広岡浅子が 生きた時代

「あさが来た」
かもって
面白くなる!

幕末、明治、大正…
浅子が駆け抜けた時代
浅子が出逢った
時代を作った偉人々たち

「あさが来た」番組解説 &
今井あさ役・波瑠インタビュー



千年杉と土倉庄三郎



土倉の記念碑と銅像



吉野の杉間伐と運送風景



写真提供：成瀬匡章氏